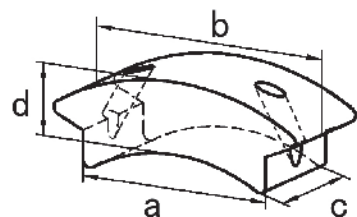


医療用品 4. 整形用品 高度管理医療機器 人工骨インプラント
アパセラム-L3
医療機器承認番号 22200BZX00810000

縦割術用スペーサ



品番	寸法(mm)					気孔率
	a	b	c	d	固定穴径	
L3-158-ZH-424-10	10	13	8	5	Φ1.5	30 %
L3-158-ZH-425-12	12	16	8	5		
L3-158-ZH-426-14	14	18.5	8	5		
L3-158-ZH-427-16	16	21	8	5		

PENTAX

製造販売業者

HOYA Technosurgical 株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-4
TEL 03-5369-1710 FAX 03-5369-1711

■札幌オフィス 〒060-0007 札幌市中央区北七条西13-9-1 TEL:011-241-3473 FAX:011-241-3472
■仙台オフィス 〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 TEL:022-371-6944 FAX:022-371-8924
■名古屋オフィス 〒461-0001 名古屋市中区泉1-21-27 TEL:052-955-8572 FAX:052-955-8573
■大阪オフィス 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 TEL:06-6263-1679 FAX:06-6263-1686
■福岡オフィス 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 TEL:092-281-6860 FAX:092-281-6869

URL www.hoyatechnosurgical.co.jp※仕様、形状は一部変更することもあります。
※掲載の写真・形状図は実物大ではありません。

ご注文先

益子工場

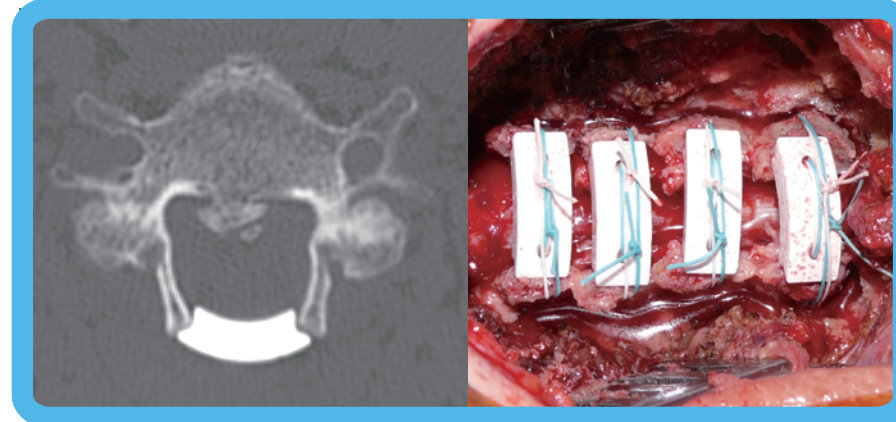
〒321-4292 栃木県芳賀郡益子町大字塙858
TEL 0285-72-6253 FAX 0285-72-6259

販売店

医療用品 4. 整形用品 高度管理医療機器 人工骨インプラント
アパセラム-L3APACERAM[®]

縦割術用スペーサ

臨床ケースレポート

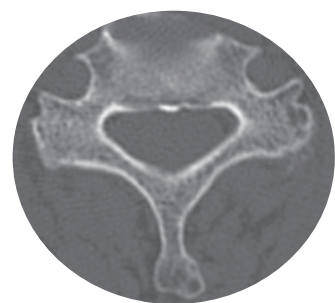


監修：浜松医科大学 整形外科 講師 長谷川 智彦先生

症例 1 多椎間の狭窄を伴う頸椎椎間板ヘルニア

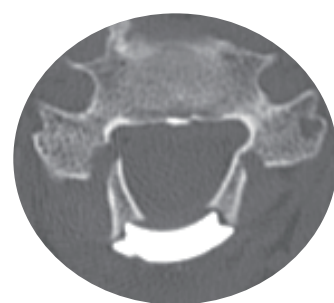
71歳・男性

CT画像(C6)



術前

骨性脊柱管前後径は11mmと
発育性の狭窄あり。



術直後

脊柱管は拡大、右椎弓のヒンジ部は
連続性を欠いている。



術後6ヶ月

スペーサの脱転無く、ヒンジ部の
骨癒合も良好に得られた。

MRI画像(T2強調画像)

矢状断像



術前

C4/5椎間板ヘルニアによる高度狭窄、脊髄輝度変化あり
C3/4、C5/6、C6/7にも脊柱管狭窄を認める。

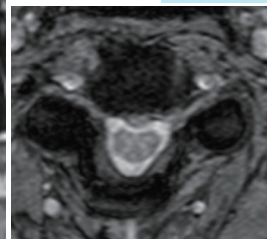
矢状断像



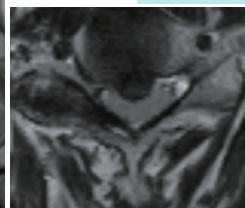
術後6ヶ月

C4/5を含め、C2/3-6/7脊柱管の拡大が得られた。
C4/5椎間板ヘルニアは消退した。

C4/5横断像



C4/5横断像



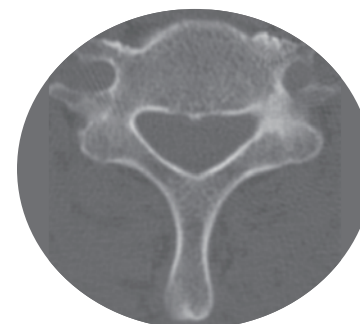
歩行障害を訴え来院、多椎間の狭窄を伴う頸椎椎間板ヘルニアと診断。C2、7部分椎弓切除、アパセラム椎弓スペーサ(C3:14mm、C4、5、6:16mm)を用いたC3-6椎弓形成術施行した。脊柱管が十分に拡大され、スペーサの脱転なく椎弓にフィットし、ヒンジ部の骨癒合も良好であった。JOA scoreは術前10.5点から術後6か月で15点へ改善した。

症例 2

頸椎症性脊髄症

73歳・男性

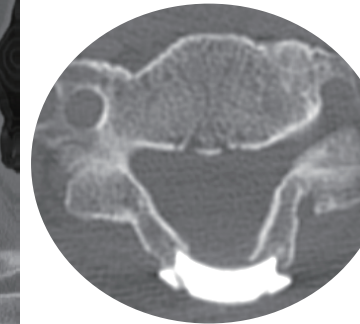
CT画像(C6)



術前



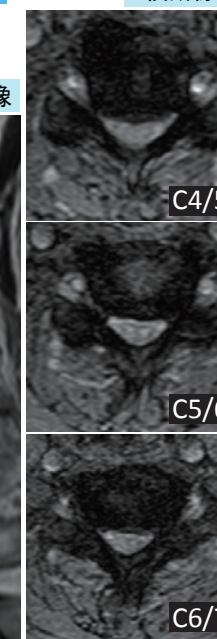
術後2年



椎弓とスペーサ間の
間隙は無く、ヒンジ部は
骨癒合し、脊柱管径は
良好に維持されている。

MRI画像(T2強調画像)

横断像



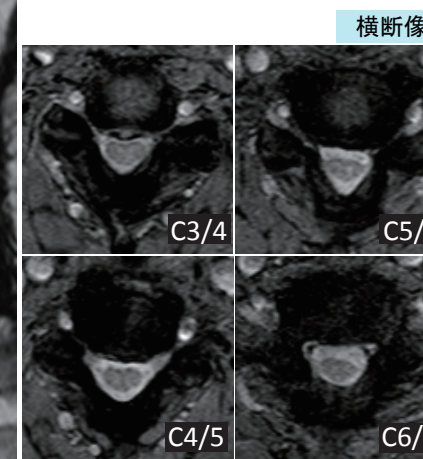
矢状断像



術前

C4/5、5/6、6/7に狭窄 C5/6に髄内の輝度変化あり。

矢状断像



横断像

術後2年

C3/4、4/5、5/6、6/7の脊柱管拡大は維持されている。
C5/6髄内の輝度変化は残存。

両手の巧緻運動障害を訴え来院、頸椎症性脊髄症と診断。C2、7部分椎弓切除、アパセラム椎弓スペーサ(C3:14mm、C4、5、6:16mm)を用いたC3-6椎弓形成術施行した。椎弓とスペーサの間隙は無く、ヒンジ部は骨癒合し、脊柱管径は良好に維持されている。JOA scoreは術前9点から術後2年で12.5点へ改善した。